

専門・認定看護師からの ニュース&トピック19号

専門・認定看護師の活動にご協力、ご支援、ありがとうございます。
今回は、感染管理の領域からニュース&トピックをお届けします。

感染管理認定看護師
横山・林・生地

第19号 2023年8月発行

1

特集「COVID-19感染症に関して」

～5月8日から5類感染症に移行しました～

◆ COVID-19感染症患者数増加

当院に勤務している職員も、COVID-19陽性者や
感冒症状を認める職員が増加中！
昨夏の第7波よりも多い現状です...

◆ 病院内でのマスク装着について

マスク装着は個人の判断になったけれど...
病院内では必須です

◆ 鼻マスクはなぜ危険？

鼻にウイルスが多く存在している報告が...
マスクは正しく装着を



★セミナーのご案内★

第15回北摂地域感染管理ネットワーク研修

『目からウロコ！楽しく学ぼう！現場で活かせる感染対策』

2023年10月21日（土）12：20～16：10 於 CIVI北梅田研修センター

詳細は近日
お知らせします

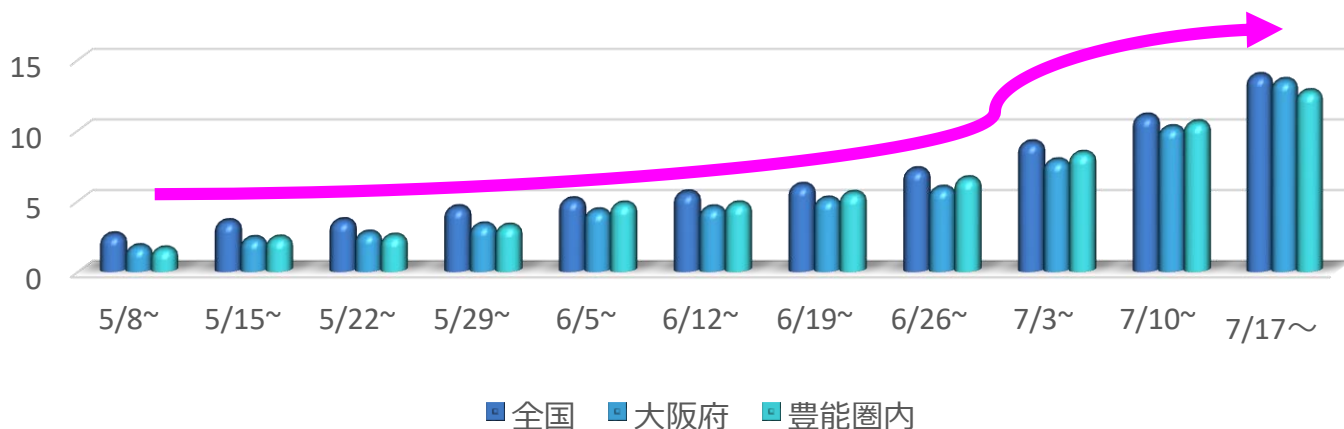
COVID-19感染症 患者数増加しています！

2

第19号 2023年8月発行

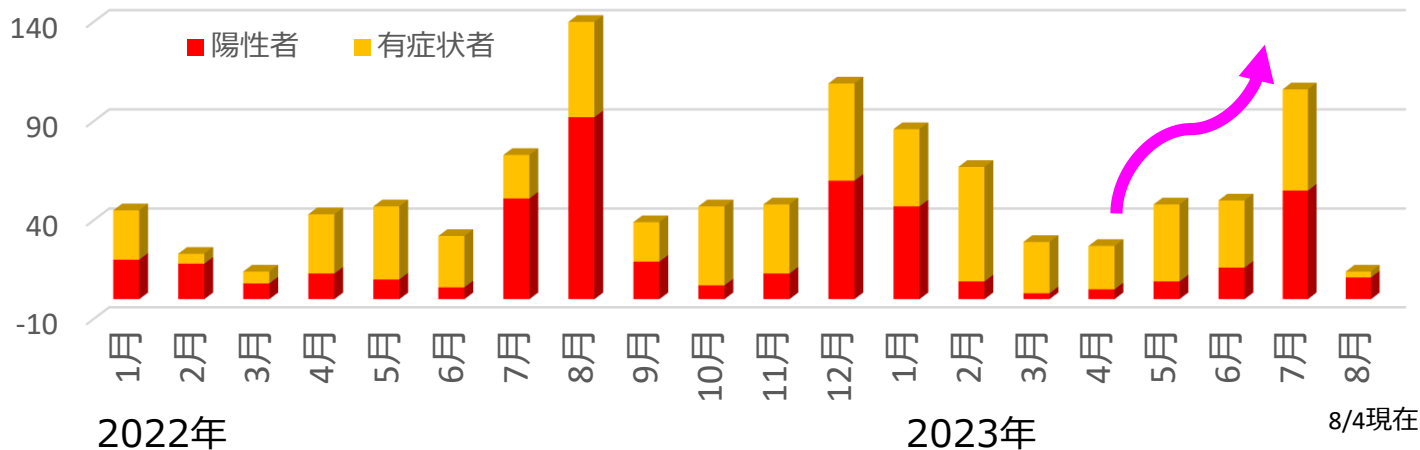
★ 5 類感染症移行後、確実に増加傾向です！（全数把握されていません）

COVID-19感染症流行状況（定点把握）



★ 当院で勤務する方の陽性者/有症状者も増加しています！

当院勤務者の現状です。昨夏は第7波がありましたが、2023年7月の陽性者は去年の7月よりも多いです。8月は更に増加するのではないかと懸念しています。



病院内では マスク装着をお願いします

3

第19号 2023年8月発行

医療従事者と病棟に出入りする方に、 不織布マスクをお願いしているわけ

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
						
		不織布	布マスク	ウレタン		
						
吐き出し飛沫量						
	100%	20%	18-34%	※2 50%	80%	※2 90%
吸い込み飛沫量						
	100%	30%	※2 55-65%	※2 60-70%	小さな飛沫に対して効果なし (エアロゾルは防げない)	

※2 豊橋技術科学大学による実験値

不織布マスクと布マスクでは、吐き出し飛沫量は大きくは変わりません。マスク装着が「個人の自由」となり、熱中症リスクや購入コストの事もあり、マスク装着に関するトラブルを避けるためにも外来患者さまにはマスクの種類を指定してはいません。マスクを装着して下さるだけで吐き出し飛沫量を減らしているということで許容している現状です。

抗がん剤治療や疾患によってハイリスクな方には、「患者さま自身を守る」という視点で、吸い込み飛沫量の少ない不織布マスクの装着推奨を患者指導として実施していただければと思います。

***咳エチケットは引き続き必要です！**

ハイリスク者を感染から守るため、 病院内では、マスク装着をお願いします！

厚労省からは、医療機関に受診や訪問する際のマスク装着が推奨され、事業所の判断でマスク装着を求められる事があるということが国民にも伝えられています。また、医療機関等の従事者については、引き続き、勤務中のマスク着用が推奨されています。「個人の自由」と言われることが増え、指導に困る場面が増えているとお聞きしています。私たちは**感染リスクの高い患者さま、感染によって重症化するリスクが高い患者さまを感染から守る義務**がありますので、理解の上対応へのご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが
令和5年3月13日から
マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために
マスクを着用しましょう

受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時
通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために
マスク着用が効果的です

高齢者
基礎疾患を有する方
妊婦
重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着用を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業所の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

厚生労働省
池田市立病院
院内・施設関係者向け

鼻マスクは、なぜ危険？

4

第19号 2023年8月発行

★新型コロナウイルスは **鼻腔に多く存在している！**

論文紹介

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 理事長 朝野和典先生作成 当院ICC資料より引用

Safety, tolerability and viral kinetics during SARS-CoV-2 human challenge in young adults (若年成人における SARS-CoV-2 ヒトチャレンジにおける安全性、忍容性およびウイルス動態) Ben Killingley, et al. Nature Medicine . 28;1031-1041 (2022)

- 18名の参加者にウイルスが接種され、ウイルス量は急激に上昇し、接種後～5日でピークに達した。
- ウイルスは最初に咽頭で検出されたが、**鼻で有意に高いレベルに増殖した**
- 分離可能なウイルス(=生きているウイルス)は、平均して接種後～10日まで鼻から回収可能であり、**マスク、空気、手、環境表面のウイルス量も鼻のウイルス量と相関**していた。
- 軽度から中等度の症状は、ウイルス接種後2～4日後から始まり、16人(89%)の感染参加者によって報告されたが、2人(15%)の参加者は無症候性のままであった。
- ウイルス量と症状の間に定量的な相関は認められず、無症状感染でも高いウイルス量がみられた。**
- 無嗅覚症または嗅覚障害は、15人(83%)の参加者でよりゆっくりと発症した。
- 抗原テストの結果は生存ウイルスと強く関連しており、モデリングは、週2回の迅速抗原検査で、分離可能なウイルスの70-80%が排出される前に感染を診断できることを示した。

Viral emissions into the air and environment after SARS-CoV-2 human challenge: a phase 1, open label, first-in-human study (SARS-CoV-2 ヒトチャレンジ後の大気および環境へのウイルス放出:第1相、非盲検、ファーストインヒューマン試験) Jie Zhou, et al. Lancet Microb . 2023doi: 10.1016/S2666-5247(23)00101-5.

- 鼻がウイルス放出と関係して**おり、マスクを使用するときに鼻を覆うなどの重要性を示した。
- 感染をブロックする**ことを目的とした介入の主要な標的として**鼻粘膜が重要**であり、抗ウイルス点鼻薬などの開発を示している。
- 環境表面からウイルスを回収し、手へのウイルス量との相関する**ことから、SARS-CoV-2の空気感染を阻止するための対策に加えて、**手指衛生と環境表面の清潔の役割を示唆している**。
- 初期症状の認知と抗原検査を用いた自己検査は、軽症のコミュニティ内の症例の伝染性を特定するのに役立つ可能性がある

不織布マスク **鼻をきちんと覆って装着することが重要です！**

★マスクの正しい装着方法★

- ① マスクの表裏を確認する
- ② ノーズクリップを鼻に合わせ、ゴム紐を耳にかける
- ③ 鼻・口・下あごを覆うようにプリーツをきちんと広げる
- ④ ノーズクリップを鼻に合わせてマスクを顔に密着させる

マスクをつけていても、鼻の部分に隙間があったり、あごの部分が出たりしていると、効果はありません！院内での会話時はプリーツをきちんと広げて正しくマスクを装着して下さい。これからも、感染対策に、ご協力をお願いします。 横山・林・生地

★もう一度確認してみよう！

